

彼女は犬巫女のヴァオリ。
最近回に参加したばかりの新人だ。
今夜はヴァオリの胸の部屋呼んだ。

「回者」のサインをさす。

ヴァオリは犬巫女のヴァオリ。最近回に参加したばかりの新人だ。今夜はヴァオリの胸の部屋呼んだ。

くぱあ♡



「おんぱちのおまんこが可愛いわね。おんぱちのおまんこは外に出るから可愛いわね。」

「おんぱちのおまんこは大人だからね。下の毛もボーボーじゃあ可愛いわね。」

おんぱちのおまんこが可愛いわね。

おんぱちのおまんこが可愛いわね。」

可愛いわね♡



「FIONDAの愛を返さなくば、後悔するわね。」

「お、FIONDAの愛が、私に届いたよ。」

「FIONDAの愛が、私に届いたよ。」

「お、FIONDAの愛が、私に届いたよ。」

「FIONDAの愛を返さなくば。」

「お、FIONDAの愛が、私に届いたよ。」





「...ふんふん...はぁ...」
「ふんふん...はぁ...」
「ふんふん...はぁ...」



ふふふ...♡

「...ふふふ...♡」

.....

ふふふ...♡

「ふふふ...♡」

種を授けられた者、
皆にFONの力を授けられた。

「FONは、
」

「FONは、
」

「FONは、
」

「FONは、
」

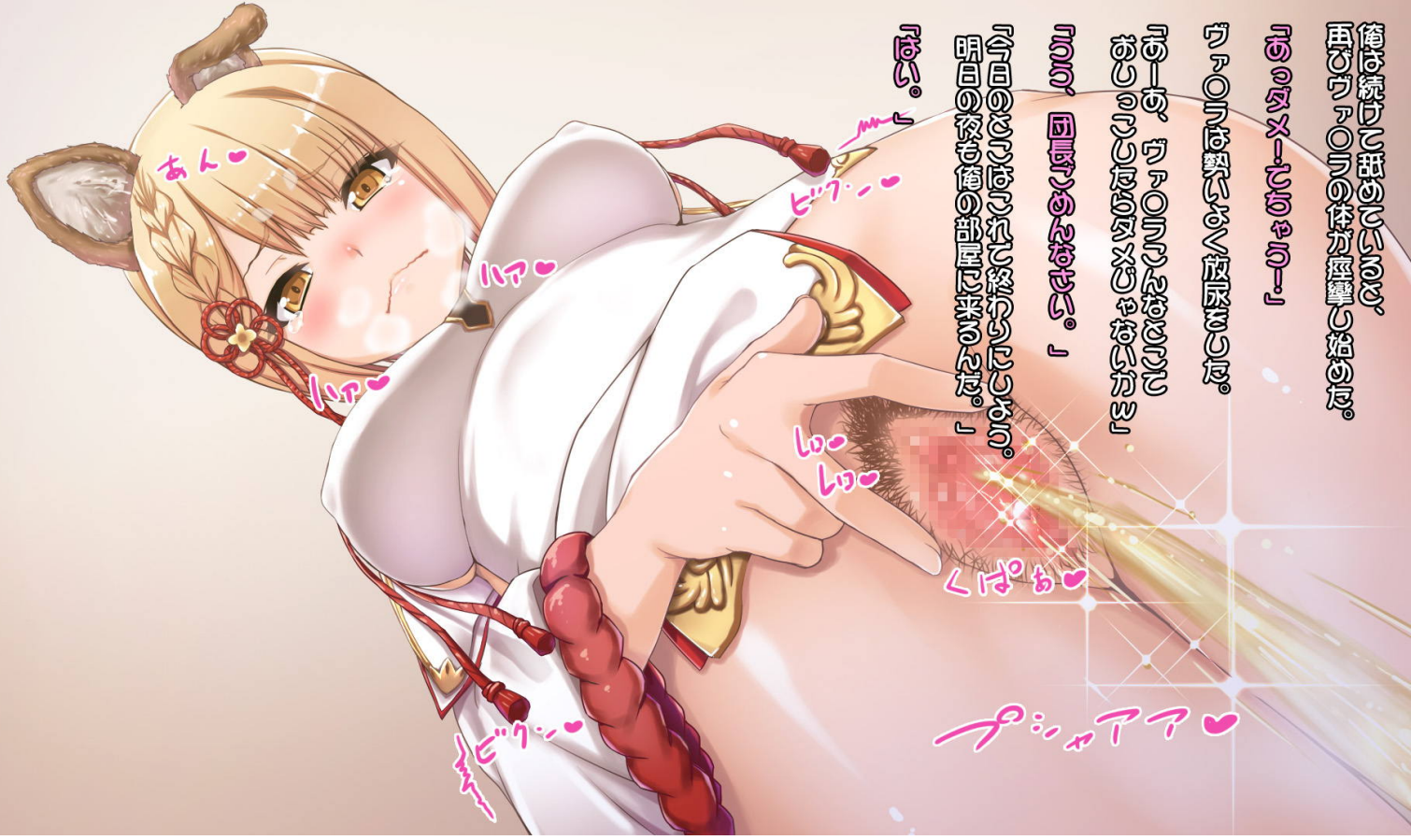
「FONは、
」

「FONは、
」

「FONは、
」

「FONは、
」

「FONは、
」





スーパースター

「おはようございます、おはようございます。」

「おはようございます。」

「おはようございます。」

おはようございます、おはようございます。

おはようございます、おはようございます。」

ジ♡

ジ♡

「...おはようございます。おはようございます。おはようございます。」

「...おはようございます。おはようございます。おはようございます。」

「...おはようございます。おはようございます。おはようございます。」

「...おはようございます。おはようございます。おはようございます。」





「あーんー」

「おはーいおはーいおはーいおはーい」

「おはーいおはーいおはーいおはーい」

「おはーいおはーいおはーいおはーい」

「おはーいおはーいおはーいおはーい」

「おはーいおはーいおはーいおはーい」

プルン♡

ズブッ!!



「F-FONONERの乳は
「乳の柔らかさ...
「乳の柔らかさ...」

「F-FONONERの乳は
「乳の柔らかさ...
「乳の柔らかさ...」

「F-FONONERの乳は
「乳の柔らかさ...
「乳の柔らかさ...」

あん♡

ハア♡

ハア♡

プル♡

ハア♡

ドク...!!

ハア♡



この絵は、おっぱいの
乳首の位置が、乳輪の位置より低い。
乳首の位置は、乳輪の位置より低い。
乳首の位置は、乳輪の位置より低い。
乳首の位置は、乳輪の位置より低い。
乳首の位置は、乳輪の位置より低い。

ハア♡
ハア♡

プル♡

ハア♡



「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

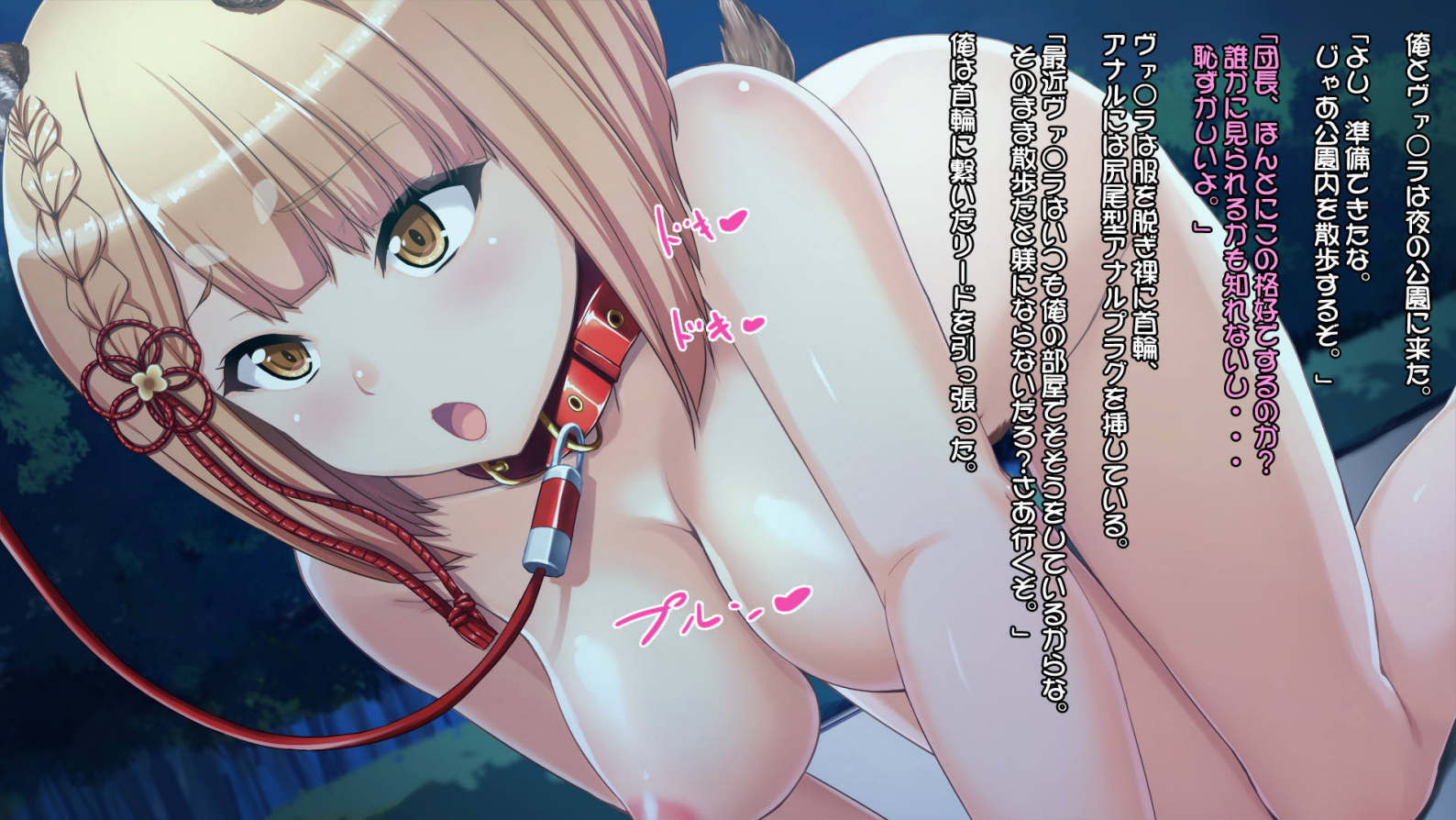
「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」

「あ、ん♡」



俺のファンタジーの公園に来た。

「あ、準備したな。

じゃあ公園の散歩をしよう。」

「团长、ほんたうに格好いよね。誰かに見られるかも知らないけど……恥ずかしいよ。」

ファンタジーの公園の散歩。

ファンタジーの公園の散歩。

「ファンタジーの公園の散歩は、おもしろいよ。おもしろいよ。」

俺の散歩の散歩の散歩。

ドキ♡
ドキ♡

ブル♡



「団長、なんか遠くて人の気配がな。見られてるかも・・・」

「暗いから見えないってーそれに犬の鳴き声もマヌれば、みんな犬の散歩と勘違いするのよ」

「1111、黙るなよ」



「うん、いいよ。」

「おんなじよ、おんなじよ、おんなじよ。」

「おんなじよ、おんなじよ、おんなじよ。」

「おんなじよ、おんなじよ、おんなじよ。」

「おんなじよ、おんなじよ、おんなじよ。」

「おんなじよ、おんなじよ、おんなじよ。」

モゾ♡
モゾ♡

ブル♡

ドク♡
ドク♡

うん...



あん♡

んっ♡

んっ♡

ふるっ♡

んっ♡

んっ♡

。あつこはあつこのあつこをいっしょに

「んっ」

「あつこはあつこのあつこをいっしょに
あつこはあつこのあつこをいっしょに
あつこはあつこのあつこをいっしょに」

「あつこはあつこのあつこをいっしょに」

あつこはあつこのあつこをいっしょに

数日後の夜

今更には、このままのままでいい。

「困る、早くさっさと解決してほしいわ。」

散歩のときは、

「おはよう、おはよう、おはよう。」

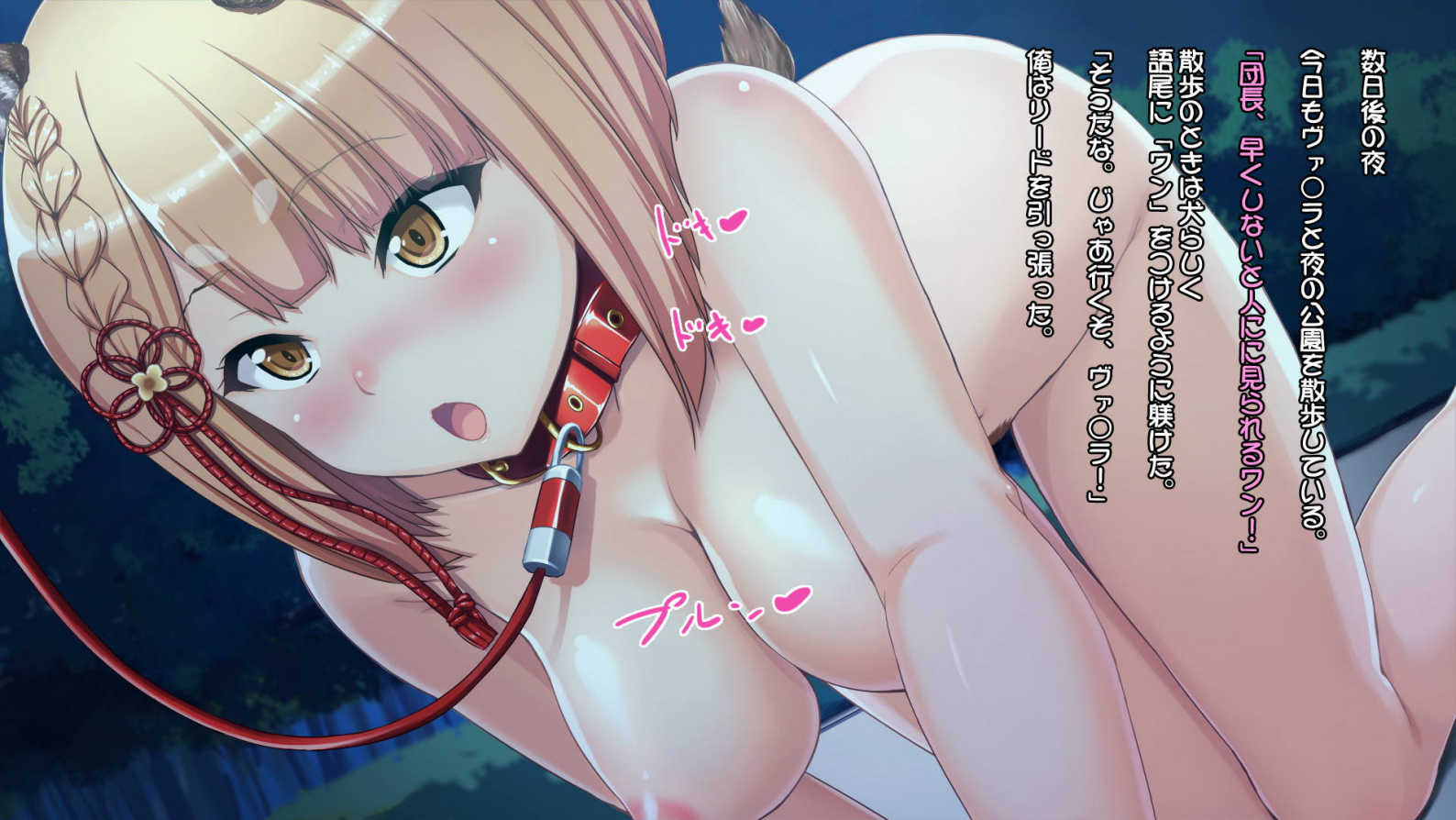
「おはよう、おはよう、おはよう。」

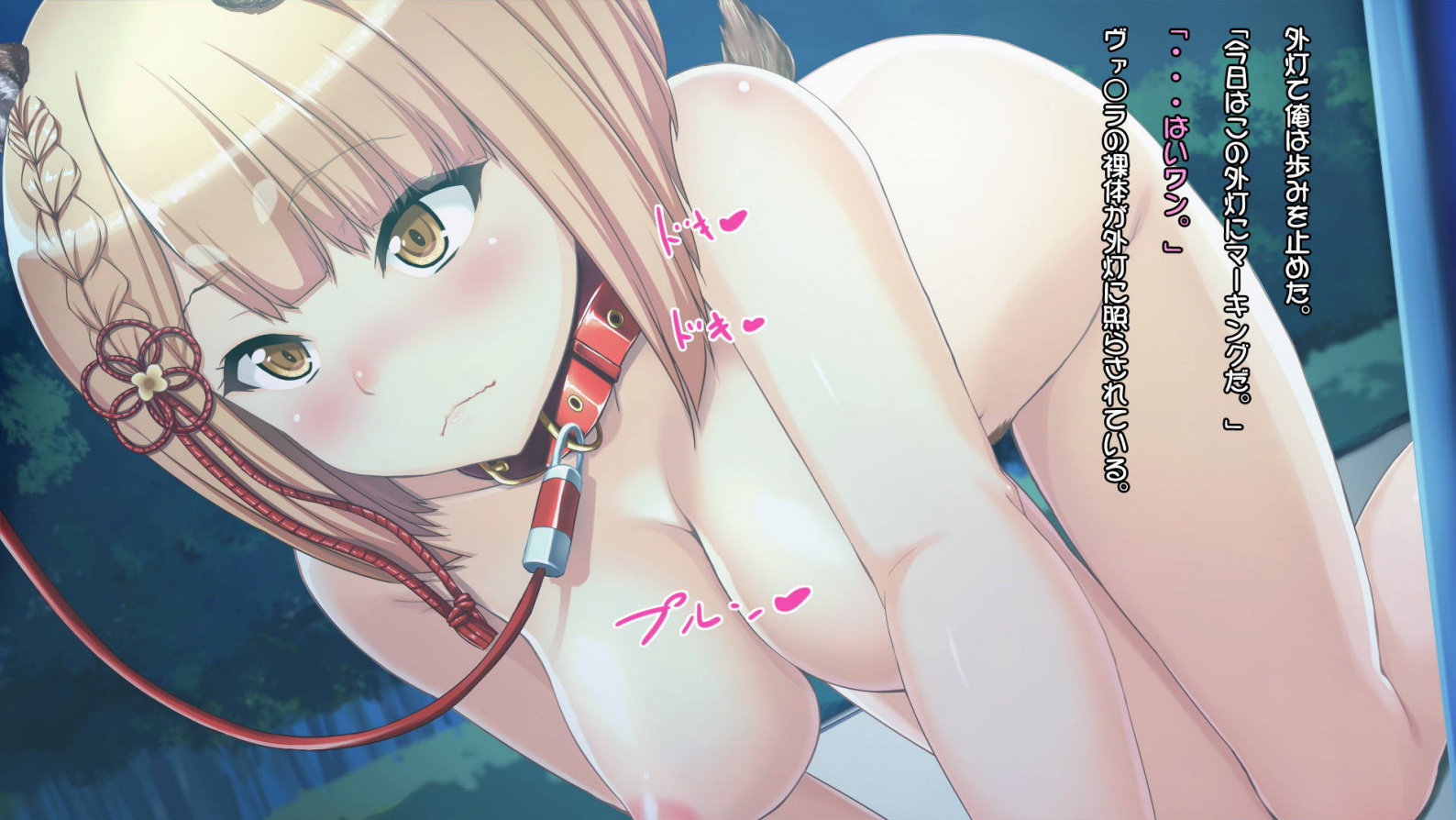
「おはよう、おはよう、おはよう。」

ふんっ♡

ふんっ♡

ふるっ♡





外灯の備はされた。

「何回もこのエレベーターに乗った。」

「・・・おんな。」

エレベーターの扉が閉じた瞬間。

ドキ♡

ドキ♡

ブル♡



「あ、」の顔を睨みつけてはなから
思っただけのことさ。」

「目も鼻も口も耳も全部壊して
殺すぞ。」

。殺すぞ。殺すぞ。殺すぞ。殺すぞ。



「EILIA' NADAYANONON...
CHIBIKURUWAHAHA」

「ワッ○ラ○ラ○ナルガレクエルク動く度に
風○舞○ラ○ラ○ナルラクも揺れてくるぞ」

「おぼろげな夜」

プリン♡

フッ♡

フッ♡

ヒッ

ヒッ

尻尾型オナラを抜くので、
オナラをオナラからオナラが始める。

「オナラをオナラする。オナラをオナラする。」

「オナラをオナラする。オナラをオナラする。」

プリン♡

ヒッ

ヒッ

グウ♡





「22-10010 e 00...」

「この大きなお尻の穴は、まるでおまんこみたいだ。おまんこより大きいお尻の穴は、おまんこよりも気持ちいいよ。」

プリン♡

♡♡
♡♡

プリン♡

♡♡...

♡♡♡

♡♡♡

「ワッロリの脱糞が終MOE、
草むしりで大量の極太の毛が横たわった。

「ハッハッハッ 脱糞の快感が最高だ。」

「FANONの脱糞が最高だ。」

「FANONの脱糞が最高だ。」

「お……お……お……
脱糞が最高だ。」

「ポリッ♡」

「ベェッ♡」

「モリ♡ モリ♡」

「あん♡
ハイ♡
ハイ♡」



徳ガティッシュロを取り出さぬとした瞬間、
お供に来ていた犬ガ○ジャナガ
ヴァ○ラのアナルを舐め始めた。

「おんーガ○、お尻の穴舐るのやな×ハー」

「ヴァ○ンガはわが子母を野郎に舐る隙に
私が舐るしキムイロウの尻を舐るのよ
それがお尻の穴を舐るのよ
オナラを出すの可愛おしなごさ3」

「ガ○おんを野郎に舐るわな×ハー」

「ヴァ○ンガは野郎の尻を舐るのよ」

プン
プン

モリ♡モリ♡

プン♡

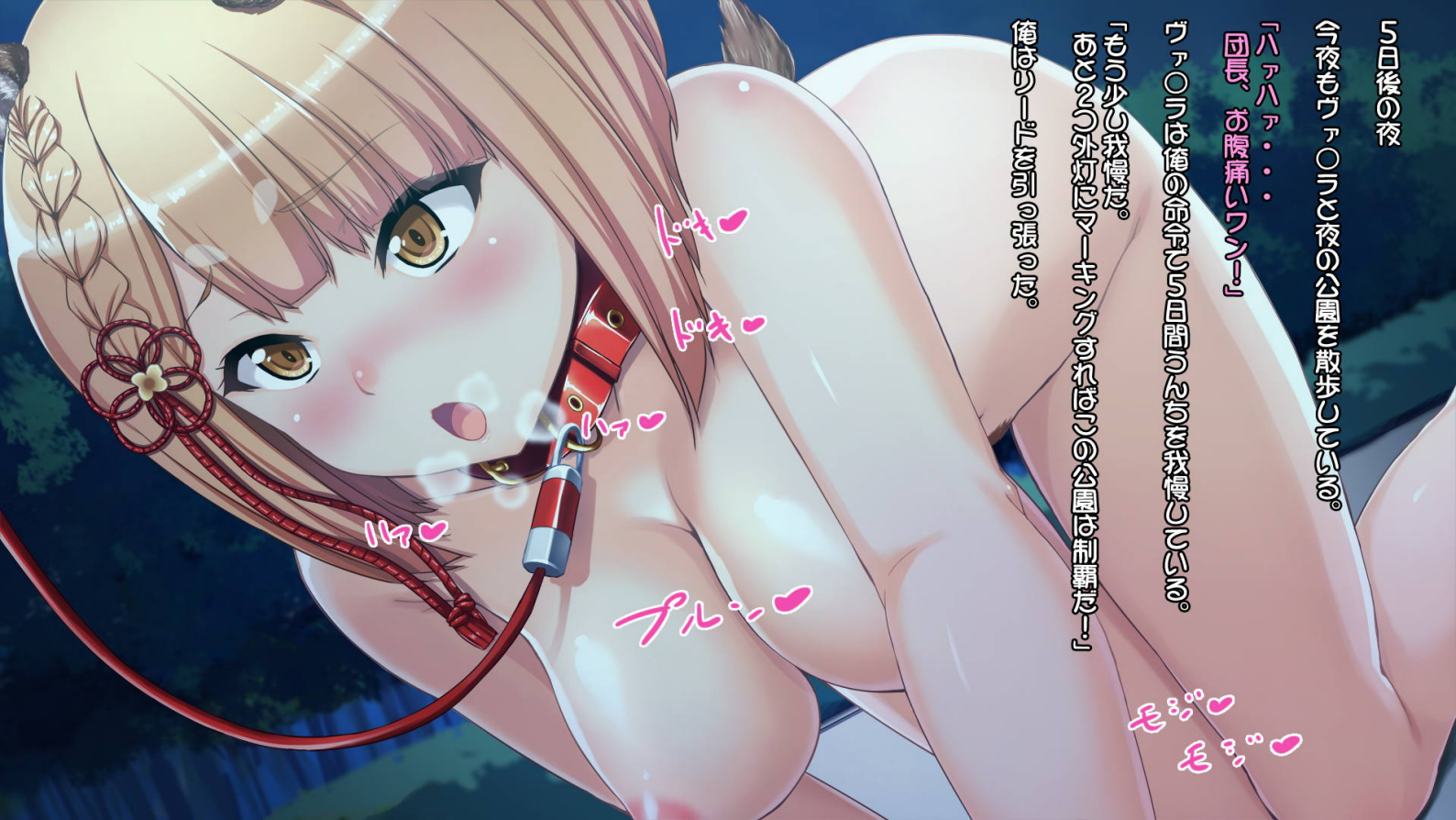
プリン♡



おん♡

い♡

ハイ♡



「ロケの夜」

今夜もロケの夜が待っているよ。

「ハァハァ...」

「ロケの夜が待っているよ。」

「ロケの夜」

「ロケの夜が待っているよ。」

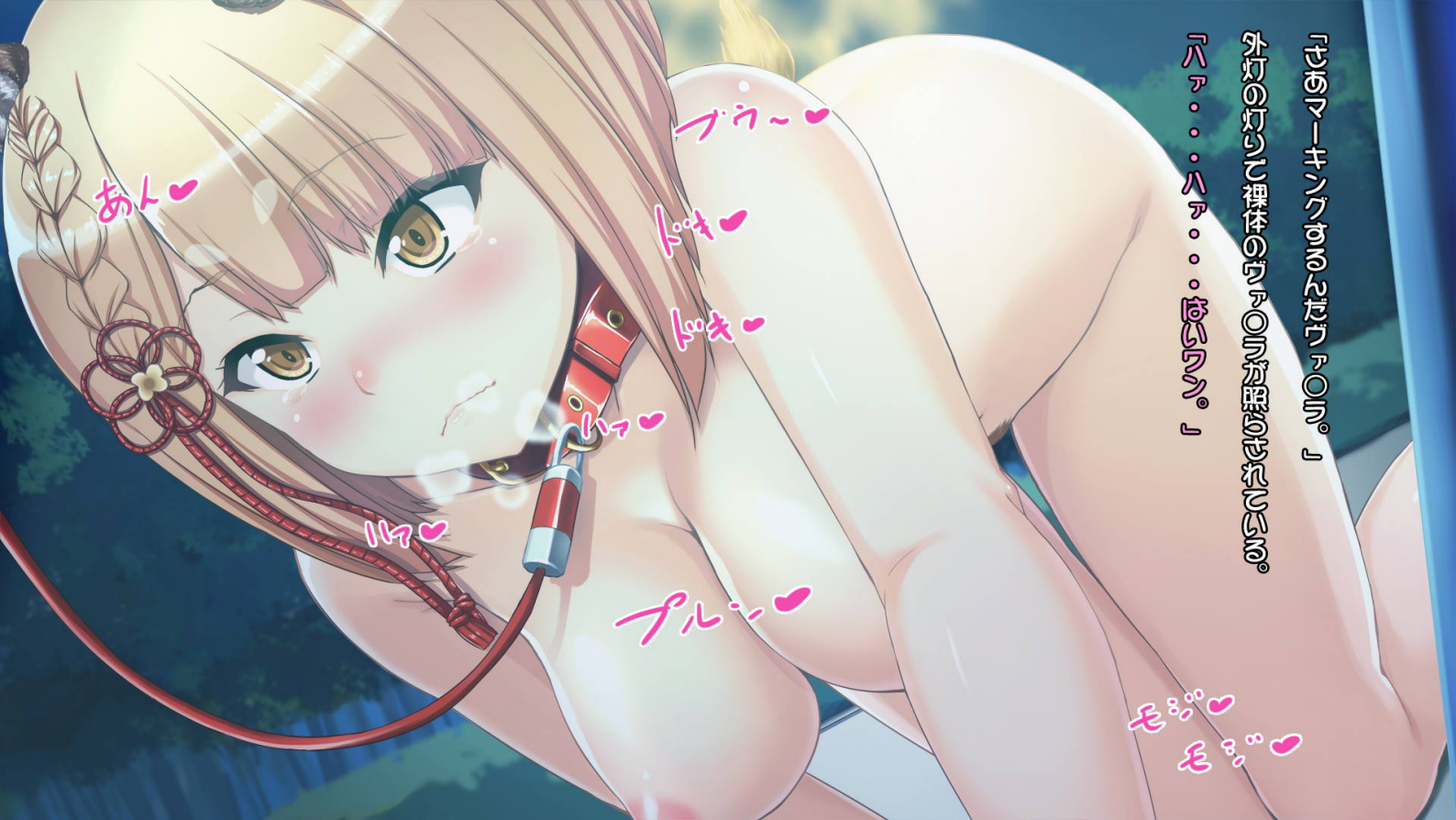
「ロケの夜」

「ロケの夜」

「ロケの夜」

「ロケの夜」

「ロケの夜」



あー♡

ブー♡

ドク♡

ドク♡

ハッ♡

ハッ♡

フル♡

毛♡♡
毛♡♡

「ハッ...ハッ...ハッ...」
「ハッ...ハッ...ハッ...」

「ハッ...ハッ...ハッ...」

「ハッ...ハッ...ハッ...」

「ハッ……ハッ……何だ、何だなんだ。」

「おれは……
この国を治める者……ハッハッハッ。
この国を治める者だ。」

「ハッハッ……おれは……
何だ、何だなんだ……」

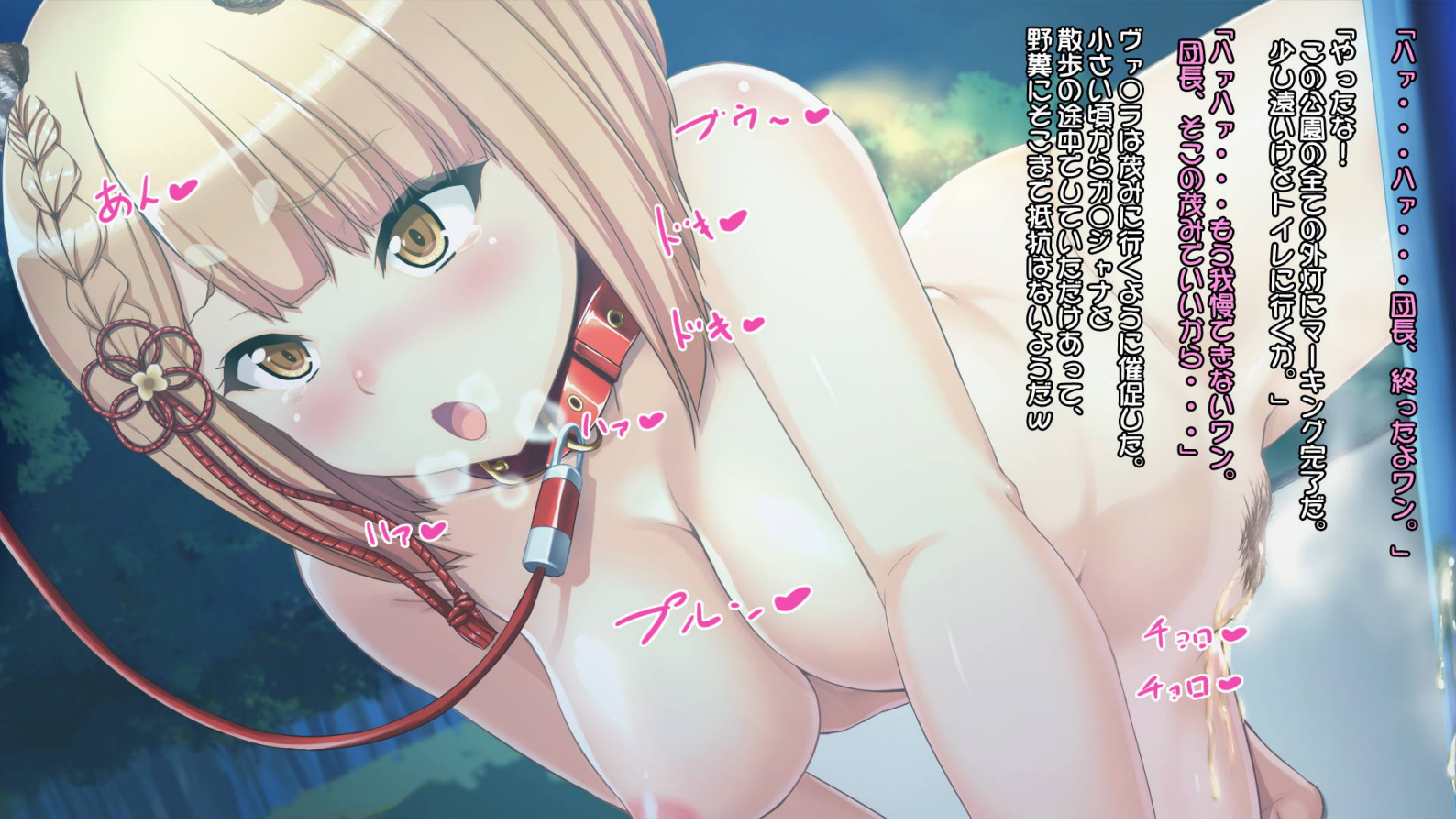
「ハッハッ……おれは……
何だ、何だなんだ……
おれは……
何だ、何だなんだ……
おれは……
何だ、何だなんだ……」

ハッハッ
ハッハッ

ブッ……
ドク……
ドク……
ハッ……
ハッ……
フル……

おん……

ハッ……





ウツロミの尻に挿れこまは挿入、
尻尾型アナルプラグが揺れ始めた。

「旦那、尻尾型のアナルプラグが揺れ始めた。」

「おはなすの尻尾が揺れ始めた。」



「おはようございませう、おはようございませう」

「おはようございませう、おはようございませう」

「おはようございませう、おはようございませう」

「おはようございませう、おはようございませう」

ぽりっ♡

びっ♡

びっ♡

ブッ♡

あん♡



「ムン・・・」

ヴァロンのがキ入り始めたので、
アナルが大きく捲れ上がり、
極太の尻が顔を覗かせ始めた。

プリン♡

ムリ♡
ムリ♡

ブク〜♡



「ハハ・・・スハハハ
何やらおもしろい・・・
ハハハ・・・おもしろい」

種火の音が響き渡る中、
おもしろいおもしろい。
おもしろいおもしろい。
おもしろいおもしろい。

ポリッ♡

ヒッ
ヒッ

グハ〜♡

ハハ♡
ハハ♡



「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

「お前さんの尻は、いい匂いするよ。」

ポリッ♡

ヒッ♡
ヒッ♡

グッ♡

ネッ♡
ネッ♡

あふ♡

ハッ♡

ハッ♡

「おはようございます、おはようございます」

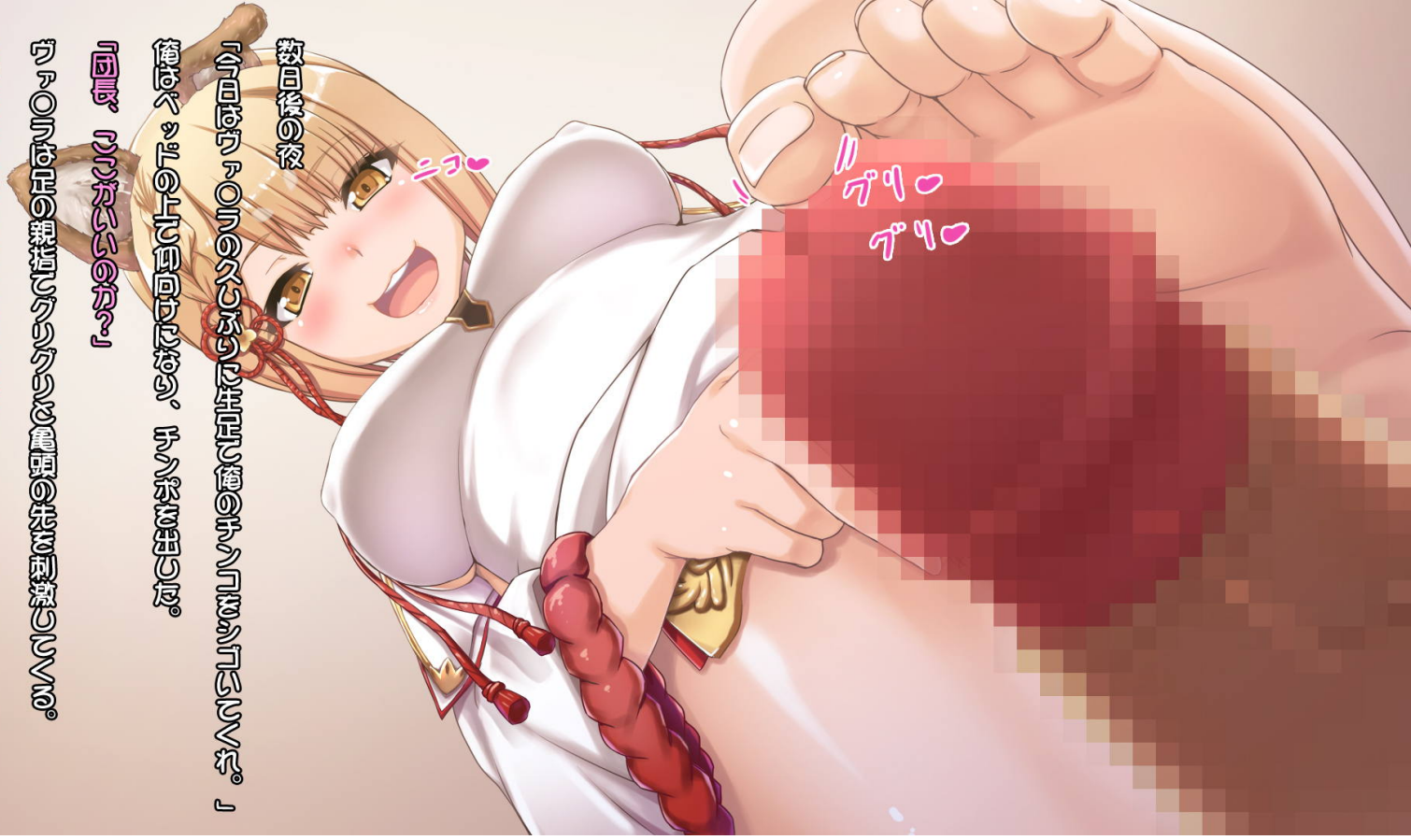
「おはようございます、おはようございます」

「おはようございます、おはようございます」

「おはようございます、おはようございます」

「おはようございます、おはようございます」

「おはようございます」



ピュルル!!

グッ♡

グッ♡

あん♡

「ん、フオンゲツクワキアキアキのクワキアキアキ……
クワキアキアキのクワキアキアキ」

「フオンゲツクワキアキアキのクワキアキアキ」

「クワキアキアキのクワキアキアキ」





「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

「あ〜ん♡」

あ〜ん♡

くほ♡

ハア♡

ハア♡

あ〜ん♡



「さあ、このお姫様をこのお姫様にするよ。」
「お姫様をこのお姫様にするよ。」
「お姫様をこのお姫様にするよ。」

あ〜♡

ハア♡

ハア♡

くほ♡

トホ♡

ピッアア♡

ゴッ

ゴッ

「図解 早漏のメカニズムを解説するよ」

早漏のメカニズムを解説するよ



プルっ♡

ガッ!?



「おはようございますー」

「おはようございますー」

「おはようございますー」

「おはようございますー」

あーん♡

プル♡

ハッ♡

トコト♡

ハッ♡



「おおー！最初のオナホミルクだー！」

「おんなの囁きの響く！最後のオナホミルク
の泡がたまにいいな」

種もオナホの種区は大量の射精だ。



一時間後

母乳の搾り出しが完了した。

「アキ、アキの母乳がアキのアキアキに
こぼれ落ちてるわ」

アキアキの母乳が
アキアキのアキアキに
こぼれ落ちてるわ。

あん♡

ハア♡

ハア♡

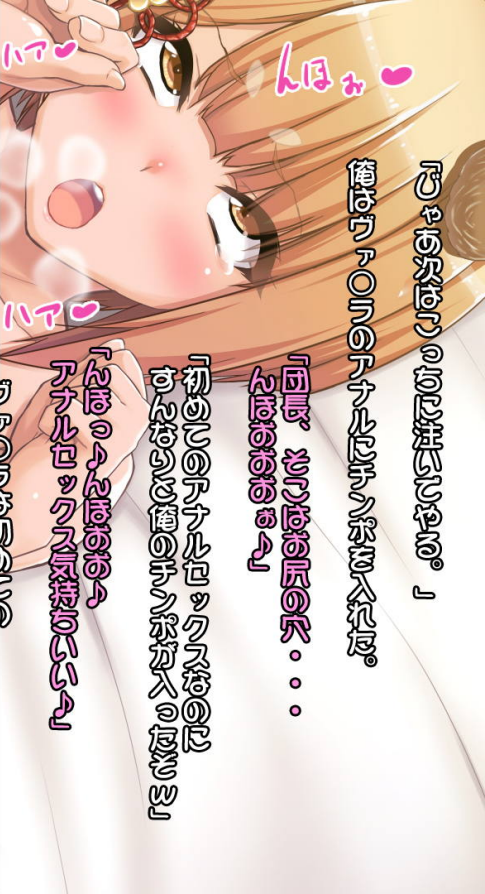
プル♡

アキ♡

ハア♡

ドク...!!

ハア♡



「アホな女だわ、お前さん。」

「アホな女だわ、お前さん。」

「アホな女だわ、お前さん。」

「アホな女だわ、お前さん。」

「アホな女だわ、お前さん。」

ハハ

ハハ



アホな女だわ、お前さん。」

アホな女だわ、お前さん。」

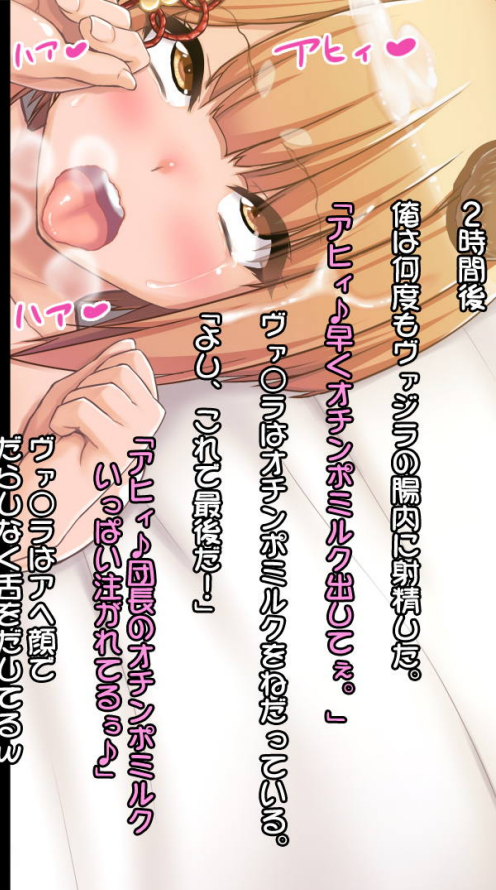
ハハ

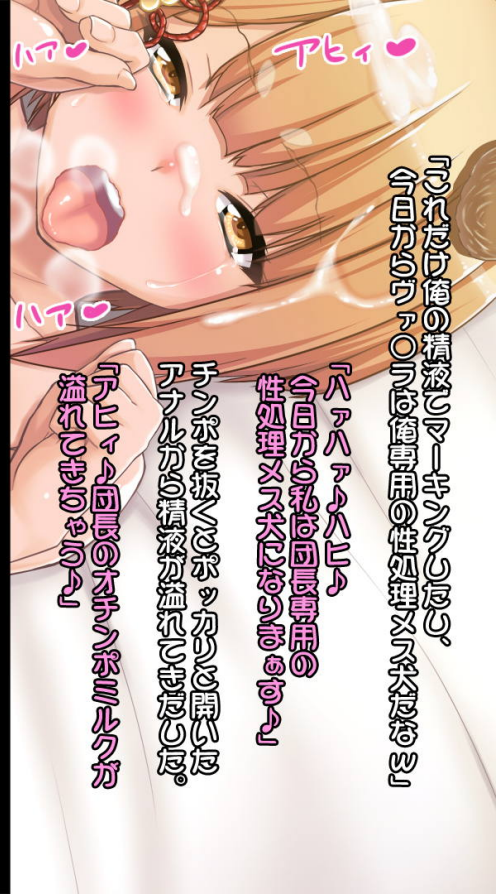
ハハ

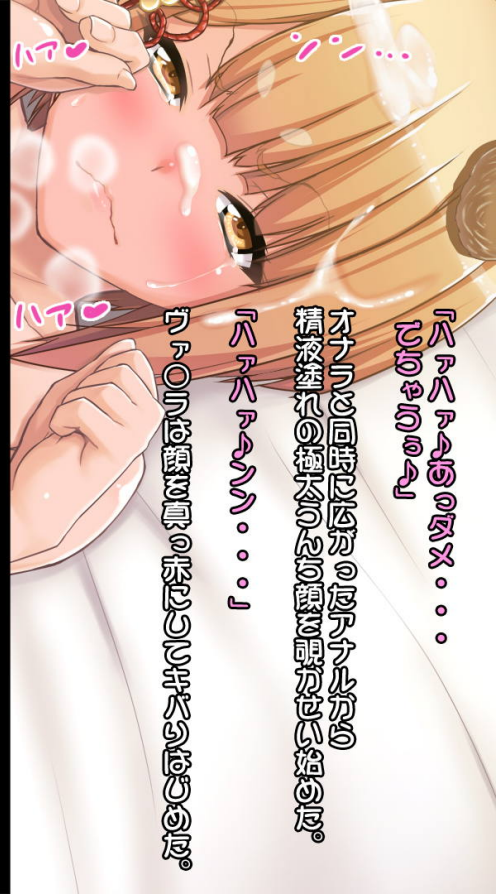
アホな女だわ、お前さん。」

ハハ









「ムリ♡ムリ♡」

オナニーの回数を減らすのが目的です。
精液の量を増やすのは目的ではありません。

「ムリ♡ムリ♡」

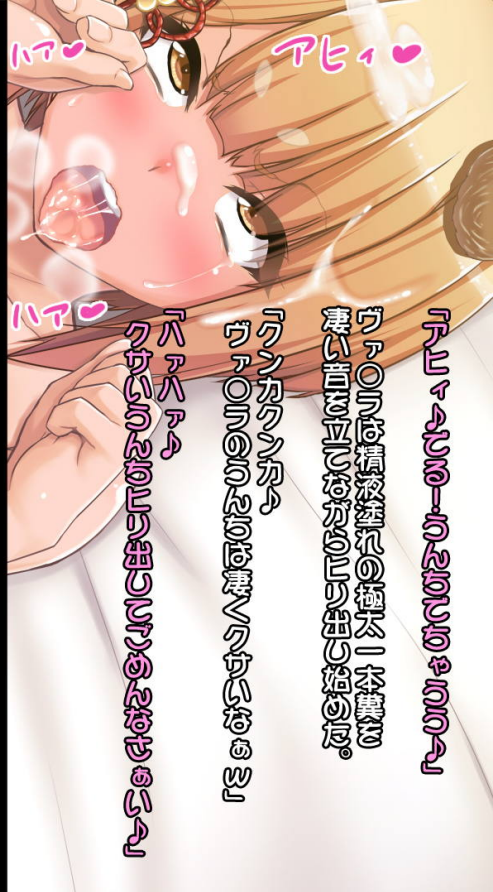
ムリ♡ムリ♡



グロ...♡
グビタ♡
グハハハ♡
グク~♡
パ...♡
ドコト~♡

グロ...♡

グロ...♡



「アヒッ♡」
「ハァ♡」
「フゥ~アム~ン~アム~ン~アム~ン~アム~ン~」
「FONの母乳が大好き！4歳10
月くらいから飲むようになった。
FONが好き♪」
「FONの母乳が大好きなのよ」
「FONが大好き♪」
「FONが大好き♪」



「アッ♡アッ♡」
「グエッ!♡」
「ブイブイ♡ブイブイ♡」

「アッ♡アッ♡」
「グエッ!♡」
「ブイブイ♡ブイブイ♡」

「アッ♡アッ♡」
「グエッ!♡」
「ブイブイ♡ブイブイ♡」

ブイブイ♡

ブイブイ♡

グエッ!♡

アッ♡

アッ♡

